



2023年2月14日

各 位

会 社 名 株式会社 QD レーザ
 代表者名 代表取締役社長 菅原 充
 (コード番号: 6613 東証グロース)
 問合せ先 取締役 CFO 経営企画室長 幸野谷 信次
 (TEL. 044-333-3338)

2023年3月期通期業績予想の修正並びに営業外収益及び営業外費用の計上に関するお知らせ

当社は本日開催の取締役会において、2022年5月12日に公表しました2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月31日)の業績予想を修正することといたしました。あわせて、2023年3月期 第3四半期累計期間(2022年4月1日～2022年12月31日)において、営業外収益及び営業外費用を計上することとなりましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2023年3月期の業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,277	△567	△558	△562	△15.73
今回修正予想 (B)	1,129	△567	△558	△562	△15.61
増 減 額 (B - A)	△147	—	—	—	
増 減 率 (%)	△11.5	—	—	—	
(参考) 前期実績 (2022年3月期)	1,101	△931	△893	△880	△25.17

(2) 修正の理由

当社の事業のひとつであるレーザーデバイス事業を取り巻く経営環境におきまして、中国における新型コロナウイルス対策にともなうロックダウン(都市封鎖)の継続により、高出力レーザーの需要が減退し、ゼロコロナ政策転換後も需要の回復には至りませんでした。また、量子ドットレーザーにおいては、量産案件以外の共同開発仕様の更新検討等に伴い、スケジュールに遅延が発生しております。

当期中は影響が継続するとともに回復が見込めないものと判断して、業績予想を修正いたします。

売上高は147百万円の減少となった一方で、手数料や人件費等を中心に販売費及び一般管理費の減少を見込むため、営業利益、経常利益、当期純利益は当初予想通りを見込んでおります。

当社といたしましては、市場回復の状況を見極めながらも、当社独自の製品が適用できる市場を積極的に開拓し、着実な成長を目指した活動を継続するとともに、新製品、新サービスの開発も並行して進めてまいります。

2. 営業外収益の内容

外国為替相場の変動により、為替差益 10,935 千円を営業外収益として計上いたしました。これは主に当社が保有する外貨建て預金や売掛金の評価替えにより発生したものであり、今後の為替相場の状況により変動いたします。

3. 営業外費用の内容

新株予約権の行使に伴う登録免許税および証券代行手数料の発生等により、株式交付費 10,146 千円を営業外費用に計上いたしました。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在で入手可能な情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上